

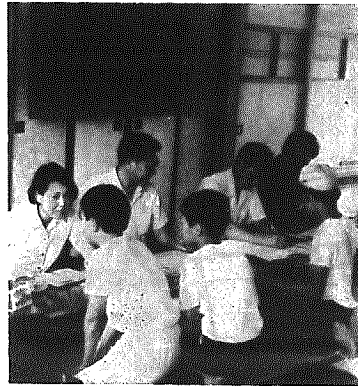
中国農業視察団来村

チビツ子も友好に一役

さる八月四日の午後、中国農業視察団の一行八人が横越下地区の赤田醸造、稲作機械共同の状況を見学のため来村した。

一行を地元農家関係者、小中学生等、多数が道連れで出向、熱烈な歓迎をした。一行も早速車を下りてこれに広々い歓迎で、非常にうれしとの挨拶があり万雷の拍手をあげた。

一行は人民公社等で活躍する若いエキスパートばかりで、畜舎や集乳所、トラクター等を精巧にみて廻りななかつつこんだ質問もしていた。



にこやかにサイン

等について、和やかに話し合っていた。

これより先、待ちかまえていたチビツ子達が、視察団がすわるやいなや、握手ならぬサインを求め、会場の意表をついた。これに対し一行はこやかに一人一人サインしてくれ、日中友好をチビツ子に先取された一幕もあった。

昭和46年度優秀農家に選ばれる

村では、一次審査二次審査をおこなって、最終的には前記三戸の農家が、昭和四十六年度の優秀農家として選定されました。

選ばれた三氏は、いずれも優秀な経営をされておられ、又年々子定です。

小林和一郎
浅見元三郎
宮沢 熊一

推進するための、近代的農業をもっと飛躍的な生産性と、大いなる所得をあげて、これらの農家の経営内容が、他の農家に模範となるにふさわしい立派な実績をあげていく農家を選定して、毎年度これを表彰し、紹介するものです。

昭和四十六年度は、農家団体等から推せんされた十戸の中から一定の選考規程によつ

て、一次審査二次審査をおこなって、最終的には前記三戸の農家が、昭和四十六年度の優秀農家として選定されました。

選ばれた三氏は、いずれも優秀な経営をされておられ、又年々子定です。

結婚は、結婚しようという男女の合意さえあれば成立し、未成年者以外は父母の同意もいらないうです。しかしめでたく結婚して夫婦生活には、いかにして法律上の夫婦になるわけではありませんが、夫婦の間には、必ず婚姻届を出さなければならぬのです。どんなに厳格な結婚式をあげ、盛大な披露宴を催し、また年連れ添って、何人もの子供が生まれても、婚姻届を出さなければ、夫婦としての法的な関係は認められません。結婚したら婚姻届を出さなければならぬのです。婚姻届を出さなければ、夫婦としての法的な関係は認められません。結婚したら婚姻届を出さなければならぬのです。

◎シンナー類の乱用を防ごう◎

—保護者の注意が必要—

昭和四十年ごろ、関東地方ではじまった青少年によるシンナー類の乱用行為は、あつたかも伝染病のごとく全国に広まり、昨年一か年だけで約五万人の青少年が罹害するまで、今や大きな社会問題になっております。

これはシンナーやボンドなどのおいしさを吸い出す遊びで、最初には頭痛や吐き気、めまいなどの軽い中毒症状から、何回も繰り返すうちに習慣性となり、脳や各種臓器を侵し、ついには肺気腫や脳出血など、人同様に重なるばかりでなく、重症の場合は呼吸神経がマヒして死亡するといふ恐ろしいものです。

しかし、青少年は好奇心が強く、模倣性が強く、又他人がやっているのを見ても、自分だけでもつたりするものがある。シンナー類の乱用が恐ろしい遊びであること、青少年がますます増え、今では、たいてい、この乱用について、法的な規制がなされた。単に使用を禁止する程度にとどまらず、八月一日から販売、授与、所持、

規則が加えられることになりました。法改正の趣旨はシンナー類を乱用する行為は犯罪であることを明確にすると同時に、販売業者や、一般消費者に対する注意喚起に尽きます。

したがって、今度、ニトルン、酢酸エチル、メタノールを含有するシンナーとボンド、おおよそメタイン等の接着剤に限り、乱用したり、承認して販売や授与したりするに当たっては、必ず、摂取や吸入の目的で持ち歩いたりすると厳罰に処せられることとなります。

六月中旬〜十月中旬危険

過去において、つが虫病の有毒地は、信濃川と阿賀野川流域が危険地帯とされ、特に信濃川流域の長岡地区は、毎年一名位の患者が発生し、今年七月末まで連続的に五名も患者が発生する等、慮をつかた有様です。

県はこの状況を重視し、有毒地の長岡をはじめ五泉、横越地区のつが虫の発生状況を調査を八月四日まで行ない、その結果、長岡では一匹のハタネミに一〇四匹のつが虫の幼虫が寄生しており、五泉は三匹のネズミに三匹のつが虫が、横越は（小核、角兵衛虫捕）四匹のつが虫の発生する幼虫が九匹発見されています。

本村では最も危険とされている浜野渡船場、橋出を結ぶ通学路および農道等は、七月

法改正で違反者は厳罰に

規則が加えられることになりました。法改正の趣旨はシンナー類を乱用する行為は犯罪であることを明確にすると同時に、販売業者や、一般消費者に対する注意喚起に尽きます。

したがって、今度、ニトルン、酢酸エチル、メタノールを含有するシンナーとボンド、おおよそメタイン等の接着剤に限り、乱用したり、承認して販売や授与したりするに当たっては、必ず、摂取や吸入の目的で持ち歩いたりすると厳罰に処せられることとなります。

（使用中に際しては、風通しのよい所を選び、又使い残しの保管は乱用されないよう注意すること。）

有毒地に十分注意を つが虫病

過去において、つが虫病の有毒地は、信濃川と阿賀野川流域が危険地帯とされ、特に信濃川流域の長岡地区は、毎年一名位の患者が発生し、今年七月末まで連続的に五名も患者が発生する等、慮をつかた有様です。

県はこの状況を重視し、有毒地の長岡をはじめ五泉、横越地区のつが虫の発生状況を調査を八月四日まで行ない、その結果、長岡では一匹のハタネミに一〇四匹のつが虫の幼虫が寄生しており、五泉は三匹のネズミに三匹のつが虫が、横越は（小核、角兵衛虫捕）四匹のつが虫の発生する幼虫が九匹発見されています。

本村では最も危険とされている浜野渡船場、橋出を結ぶ通学路および農道等は、七月

9月保健衛生業務予定

月日	時間	実施内容	該当者(地区名)	場所
9/18	午後1:30~2:30	種痘接種	45.9.1~46.8.31生れのもの 来定小学校入学のもの 来定小学校6年生 横越・川根谷内	横越小学校
9/19	火	〃	〃	沢海小学校
9/20	水	〃	〃	津本小学校
9/21	木	〃	〃	小杉小学校
9/25	月	種痘接種をうけたもの	横越川根谷内	横越小学校
9/26	火	〃	〃	沢海小学校
9/27	水	〃	〃	津本小学校
9/28	木	〃	〃	小杉小学校
9/29	金	乳児検診	昭和46.9月、47.2月、6月生れのもの	公民館
10/4	水	小児マヒ予防接種	昭和46.8.1~47.1.31生れのもの	公民館



優秀農家の横顔

昭和四十六年度の横越村優秀農家となった三人のうちでは、一番若い青年経営者小林和一郎氏は、昭和三十年加茂農林高校を卒業後、農業に従事、青年時代は4日クラブ等のサークル活動を通じて農業の研究を熱心に行なってきた。

この家の経営規模は、水田八五アール、畑二〇二アールで、村の平均作面積の約二倍を耕作してゐる。特徴的なことは耕地の多量に借受地であること。特にかも水田が少なかったため、作りに依存せず、積極的に畑作拡大に力を入れ、特に水田裏作を有効に活用して、専業的経営を確立してまいり、

ソ業基幹経営

小林和一郎氏 35才

積み、よくプロジェクト発表をした経験もある。昭和四十年頃から経営の移譲を受け、性来の研究熱心と努力が手伝する程度で、営基盤を築きました。

部落は沢海第一農家組合に属し、家族は七人であるが、農作業は、多忙なときは両親が手伝する程度で、専ら奥さんと二人で当っています。



部門別経営収支実績

部門	収入	経費	純収入	増減	貯蓄	負債	純資産
ソ業	2,616	1,134	23.0	20.8	10.5	8.6	1,482
稲作	563	200	18.8	17.6	14.1	10.5	363

△ソ業作付面積

キャベツ 五〇ア
チニソ 三五ア
長いも 二五ア
里いも 二〇ア
甘藷 二〇ア
ごぼう 一〇ア
馬鈴薯 一〇ア
トマト 一〇ア
カリフラワー 一〇ア
人参 一〇ア
しょうが 一〇ア